



整備後は、町内はもとより他の市町村からも多くの見学者が訪れており、古代の歴史にふれる場、憩いの場として親しまれている。維持管理については、地区住民のボランティアで行われている。

公園には、およそ二千年前にこの地に点在していたと思われる弥生時代中期の集落を再現するため、竪穴式住居や高床倉庫などを復元させている。また、学習の場として説明案内板の設置も行った。

三日月町では、郷土の歴史を伝え、史跡を広く紹介していくため「史跡土生遺跡整備」を進めており、現在は史跡公園としての整備が行われている。

三日月町の久米地区に存在する土生遺跡は、国内における初期農耕文化の実相を知るうえで極めて貴重である、との理由から国の史跡に指定されている。

DATA・BOARD 56

- ①佐賀県小城郡三日月町字土生
- ②面積：5,007㎡
- ③竪穴式住居・高床式倉庫の復元、案内板
- ④木材、葺葺き



56 史跡土生遺跡整備